

# 宿泊約款

ACCOMMODATION CONTRACT

**SOLARE**  
HOTELS & RESORTS

## 宿泊約款

### （適用範囲）

#### 第1条

- 当ホテルが締結する宿泊及びこれに関連する契約は、この約款の定めによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は慣習によるものとします。
- 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

### （宿泊契約の申込み）

#### 第2条

- 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
  - 宿泊者名。
  - 宿泊日及び到着予定時刻。
  - 申込者名及びその連絡先、宿泊料金の支払者名及びその連絡先。
  - その他当ホテルが必要と認める事項。
- 宿泊客が、宿泊中に前項第(2)号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

### （宿泊契約の成立等）

#### 第3条

- 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(宿泊期間が3日を超える場合は3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を当ホテルの指定する日までににお支払いいただきます。
- 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条、第19条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば返還します。
- 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までににお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。

### （申込金の支払いを要しないこととする特約）

#### 第4条

- 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

### （宿泊契約締結の拒否）

#### 第5条

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- 満室（異）により客室の余裕がないとき。
- 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- 宿泊しようとする者が、この約款に違反し、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- 宿泊しようとする者が、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成3年法律第77号)による指定暴力団及び指定暴力団員等またはその関係者、その他反社会的勢力(以下「暴力団等」といいます)であるとき。
- 宿泊しようとする者が、暴力団等が事業活動を支配する法人その他の団体または構成員であるとき。
- 宿泊しようとする者が、暴力団等に該当する者が役員となっている法人またはその構成員であるとき。
- 宿泊しようとする者が他のお客様に著しい迷惑を及ぼす行動をしたとき。
- 宿泊しようとする者が施設若しくは施設職員に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき、またはかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
- 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められるとき。
- 宿泊しようとする者の身体、衣服等が著しく不潔で、他の客に迷惑をかけるおそれがあると認めるとき。
- ていぞうその他粗悪の行為により、他の客に迷惑をかけるおそれがあると認めるとき。
- その他都道府県条例等の規定する場合に該当するとき。

### （宿泊客の契約解除権）

#### 第6条

- 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。
- 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで到着予定時刻を2時間経過した時刻(到着予定時刻の明示が無い予約は当ホテルの定める時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

### （当ホテルの契約解除権）

#### 第7条

- 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
  - 宿泊客が第5条第3号から第14号までに該当することとなったとき。
  - 客室での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則に従わないとき。
- 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

### （宿泊者の登録）

#### 第8条

- 宿泊客は、宿泊日当日、ホテル到着の際フロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
  - 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び勤務先。
  - 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日。
  - 出発日及び出発予定時刻。
  - その他当ホテルが必要と認める事項。
- 宿泊客が第12条の料金の支払いを旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

### （客室の使用時間）

#### 第9条

- 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、当ホテルが定めるチェックイン時刻からチェックアウト時刻までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に应付することがあります。この場合には当ホテルの定める追加料金を申し受けます。但し、当ホテルの定める最大滞在可能時刻を超える場合は、1泊分の宿泊料金を申し受けるものとします。
- 前2項に基づき宿泊客が客室を使用できる時間内であっても、当ホテルは、安全及び衛生管理のため客室に立入り、必要な措置をとることができるものとします。

### （利用規則の遵守）

#### 第10条

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めて館内に掲示した利用規則に従っていただきます。

### （営業時間等）

#### 第11条

- 当ホテルの施設等の営業時間は客室内のインフォメーション等でご案内いたします。

- 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適切な方法をもってお知らせします。

### （料金の支払）

#### 第12条

- 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
- 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等により、チェックインの際、宿泊期間延長申込の際、又は当ホテルが請求したとき、当フロントにおいて行っていただきます。
- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。
- 当ホテルが朝食・昼食・夕食付、又は付帯サービスを付けた宿泊プランの場合、宿泊客が任意に喫食しない、又は利用しなかった場合においても、その金額分を申し受けます。

### （当ホテルの責任）

#### 第13条

当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

### （契約した客室の提供ができないときの取扱い）

#### 第14条

当ホテルの責めに帰すべき事由によって、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、天災、その他の理由による困難な場合を除き、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

### （寄託物等の取扱い）

#### 第15条

- 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、宿泊客がその種類及び価額の明告を行わなかったときは、当ホテルは5万円を限度としてその損害を賠償します。
- 宿泊客が当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに、貴重品について、フロントにお預けにならなかったものに関しては当ホテルの故意又は重大な過失がない限り、滅失、毀損等の損害が生じても当ホテルは責任を負いかねます。

### （宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

#### 第16条

- 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。
- 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れていた場合、当ホテルは遺失物法に基づき処理いたします。
- 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準じるものとします。

### （駐車場の責任）

#### 第17条

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

### （宿泊客の責任）

#### 第18条

- 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。
- 宿泊者間の紛争及び損害については、当該当事者間で損害の賠償と紛争の解決に当たっていただきます。

### （免責事項）

#### 第19条

当ホテル内からのパソコン、携帯電話等を利用したインターネット、メールなどの通信のご利用にあたりましては、お客様ご自身の責任において行うものといたします。当該通信のご利用中にシステム障害、電波障害、停電その他の理由により、その結果利用者かいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、当該通信のご利用に際して当ホテルが不適切と事前または事後に判断した行為により、当ホテルまたは第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

### （支配する言語）

#### 第20条

この約款は日本語と英語で作成されていますが、日本文と英文の間に不一致又は相違があるときは、すべて日本文によるものとします。

### （裁判管轄及び準拠法）

#### 第21条

この約款による宿泊契約及びこれに関連する契約に関して生じる一切の紛争については、専ら当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

### 別表第1 宿泊料金等の内訳(第12条第1項関係)

宿泊客が支払うべき総額	内 訳	
	宿泊料金	1,基本宿泊料(室料、朝食、夕食)
	追加料金	2,追加飲食(食事・その他の飲食物)、3,その他の利用料金
	税 金	消費税、入湯税、宿泊税等

### （備考）

- 基本宿泊料は当ホテルホームページに掲載する料金表によります。
- 当ホテルでは子供も大人料金と同一になりますが、寝具及び食事を提供しない小・中学生以下の子供については、料金をいただきません。ただし、季節・宿泊プランにより子供料金・幼児料金を設定することがあります。この場合適切な方法をもってお知らせします。

### 別表第2 違約金(第6条第2項関係)

	不 泊	当 日	前 日	9日前	20日前
14名まで	100%	80%	20%	—	—
15名～99名まで	100%	80%	20%	10%	—
100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

### （注）

- ％は、予約時の宿泊料金に対する違約金の比率です。

TERMS & CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACT

Article 1. Scope of Application

1. Accommodation Contracts and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms & Conditions contained herein. Any matters not provided for herein shall be governed by the laws and regulations, and / or generally accepted practices.
2. In the case that the Hotel has entered into a special agreement with the Guest, insofar as such special agreement does not violate the laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special agreement shall take precedence over the provisions of these Terms & Conditions.

Article 2. Application for Accommodation Contracts

1. A Guest who intends to apply for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars.
- (1) Name of the Guest(s);
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) The applicant's name and contact information, the name and contact information of the party paying the Accommodation Charges.
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case that the Guest requests, during his stay, an extension of accommodation beyond the date (s) in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, such request shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time it is made.

Article 3. Conclusion of Accommodation Contract and related agreement

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proven that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay a deposit fee of an amount fixed by the Hotel within the limits of the Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit fee shall initially be allotted to the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondarily to the cancellation charges under Article 6 and thirdly to the damage charges under Article 18 and Article 19 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid.

Article 4. Special Contracts Not Requiring a Deposit Fee

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no deposit fee after the Contract has been concluded, as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case that the Hotel has not requested payment of a deposit fee as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and / or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, the Hotel shall be treated as having accepted a special contract as prescribed in the preceding Paragraph.

Article 5. Right of Refusal

- The Hotel may refuse to conclude an Accommodation Contract under any of the following circumstances:
- (1) When the application for accommodation does not conform to the provisions of the terms and conditions herein;
- (2) When the Hotel is fully booked and there are no vacancies;
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself / herself in a manner that will contravene the laws and regulations or act against the public order or accepted principles of morality in regard to his / her accommodation;
- (4) When the Guest seeking accommodation is a member of or affiliated with a crime syndicate, organized crime group or any antisocial organization as found in the "Act on the Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members" (Act No. 77 of 1991);
- (5) When the Guest seeking accommodation is a corporation or other organization whose business activities are under the control of a crime syndicate or organized crime group, or a member thereof;
- (6) When the Guest seeking accommodation is a corporate organization or a member of an organization whose director is proven to be a member of an organized crime syndicate;
- (7) When the words and actions of the Guests seeking accommodation are a nuisance to other patrons;
- (8) When the Guest seeking accommodation has used violence, threats, coercion or blackmail in making unreasonable demands of the accommodation facilities or its employees, or has requested the Hotel to assume an unreasonable burden, or he/she is deemed to have conducted the similar actions in the past;
- (9) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (10) When the Guest seeking accommodation has made unreasonable demands in relation to his/her accommodation;
- (11) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamity, malfunction of facilities and / or other unavoidable circumstances;
- (12) Where the Guest seeking accommodation is markedly dirty or badly dressed, such that it could be deemed liable to cause disturbance to other guest(s);
- (13) When the Guest seeking accommodation, owing to heavy intoxication or other rude manners, is deemed liable to cause annoyance to other guest (s); or
- (14) When the Guest seeking accommodation comes under any other circumstance such as provided in Prefectural Ordinance.

Article 6. Guest's Right of Cancellation

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.
2. In the event the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to reasons attributable to the Guest, the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2.
3. In the case when the Guest does not appear even after 2 hours of the expected time of arrival (the time fixed by the Hotel if the Hotel has not been notified) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Article 7. Hotel's Right of Cancellation

1. The Hotel may exercise its right to cancel the Accommodation Contract under any of following circumstances;
- (1) When the Guest comes to fall under Paragraph 3 through Paragraph 13 of Article 5,
- (2) When the Guest does not observe the rules prohibiting certain actions specified under the Use Policy stipulated by the Hotel (restricted to prohibitions deemed necessary in order to prevent fires), such as smoking in bed, and causing mischief to the fire fighting facilities.
2. In the event the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services which he / she has not received.

Article 8. Registration

1. The Guest shall record the following details at the Reception of the Hotel on the check-in date.
- (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
- (2) With the exception of Japanese nationals, nationality, passport number, port and date of entry to Japan;
- (3) Date and estimated time of departure; and
- (4) Other details deemed necessary by the Hotel
2. In the case that the Guest intends to pay his / her Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than cash in Japanese currency, such as traveler's cheques, hotel vouchers or credit cards, such means of payment shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Article 9. Guest Room Occupancy Hours

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from the time of check-in to check-out specified by the Hotel. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.
2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges (consumption tax included) fixed by the Hotel shall be paid. However, in the case when the Guest is accommodated to exceed the maximum possible accommodation time specified by the Hotel, the Guest shall pay the Accommodation Charge for one day.
3. The Hotel may enter the contracted guest room and take necessary measures for the purpose of management of safety and health regardless whether the Guest is occupying the available time pursuant to the preceding Paragraph 2.

Article 10. Observance of Use Policy

The Guest shall observe the Use Policy established by the Hotel which is posted on Hotel premises.

Article 11. Business Hours

1. The business hours such as facilities shall be provided by the Information in guest rooms or in other ways deemed suitable by the Hotel.
2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes.

Article 12. Payment of Accommodation Charges

1. The breakdown of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay are listed in the attached Table No. 1.
2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency, or other means acceptable to the Hotel, such as traveler's cheques, hotel vouchers or credit cards at the Reception at the time of check-in, requesting for extension of accommodation, or upon requested by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities once such facilities have been made available to him / her by the Hotel.
4. The Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not eat breakfast, lunch or dinner, or not utilize any additional service provided by the Hotel plan.

Article 13. Liabilities of the Hotel

The Hotel shall compensate the Guest for damages if the Hotel has caused such damage to the Guest during the fulfillment or nonfulfillment of the Accommodation Contract and / or related agreements. However, the same shall not apply in the event such damage has been caused due to causes for which the Hotel does not bear liability.

Article 14. Policy in the Event Contracted Room is Unavailable

With the exception of difficult circumstances resulting from natural disasters and other causes, in the event the Hotel is unable to provide the contracted room(s), the Hotel shall, insofar as practicable and with the consent of the Guest, arrange alternative accommodations of the same standard for the Guest elsewhere.

Article 15. Liability of Hotel for the Possessions of Guests

1. With the exception of unavoidable causes, the Hotel shall be liable for the loss, damage, or destruction of goods, cash and valuables deposited to the front desk by the Guest. However in the event the Guest does not provide a clear statement regarding the type and value of said items upon being requested by the Hotel, the liability of the Hotel shall be subject to an upper limit of ¥50,000.
2. The Hotel shall be liable for the loss, damage or destruction of goods, cash and valuables not deposited to the front desk only if such loss, damage or destruction results from the willful conduct or negligence of the Hotel.

Article 16. Custody of Baggage and / or Belongings of the Guest

1. When baggage of the Guest is brought into the Hotel before his / her arrival, the Hotel shall be liable to keep and hand over said items to the Guest at the reception at the time of his / her check-in only if the Hotel has agreed to do so in advance.
2. In the event the Guest checks out leaving belongings or bags behind, the Hotel will process such items in accordance with the provisions of the Lost Goods Act.
3. With respect to the Hotel liability for its taking custody of belongings or baggage of the Guests under the preceding two paragraphs, Paragraph 1 and Paragraph 2 of Article 15 shall apply mutatis mutandis to Paragraph 1 and Paragraph 2 hereof respectively.

Article 17. Liability in regard to Parking

When the Guest makes use of the parking lot, regardless of his/her deposit of the keys to the car, the Hotel is lending the space, but does not assume a custodial responsibility for the car. However, if the car is damaged due to the willful conduct or negligence of the Hotel's management of the parking lot, the Hotel will bear liability for such damage.

Article 18. Guest Liability

1. The Guest shall compensate the Hotel for any damage caused by willful conduct or negligence of the Guest.
2. Disputes arising between or among Guests and damages thereof shall be resolved through dispute resolution between the parties.

Article 19. Disclaimer Regarding Computer Communication Services

Please be aware that Guests are liable for any use of computer communication services from within the Hotel. The Hotel cannot be held liable for any possible damage that may be caused by a systems failure or any other reasons while the computer communication services are in use. In addition, the Guest may be required to compensate the Hotel and third parties for any possible damage caused by acts that the Hotel determines are an inappropriate use of the computer communication systems.

Article 20. Governing Language

These terms herein are provided in both Japanese and English. In the event of a variation or discrepancy between the Japanese and the English version, the Japanese version shall take precedence.

Article 21. Jurisdiction and Applicable Laws

All litigation arising from the Terms & Conditions for Accommodation Contracts and related agreements will be resolved in the courts of the jurisdiction of the Hotel in accordance with Japanese law.

Table No.1: Break down of Accommodation Charges, etc. (Ref. Paragraph 1 of Article 12)

Total Amount to be paid by the Guest	Contents	
	Accommodation Charge	(1) Basic accommodation charge. {Room Charge(or Room Charge + Breakfast, Dinner)}
	Extra Charge	(2) Additional Food and Beverages (Other than Breakfast and Dinner) Other Charges
	Taxes	a. Consumption Tax b. Bathing Tax c. Accommodation Tax

Remarks:

1. The Basic Accommodation Charges of the Hotel shall be stated in the rate sheet shown on the Hotel website.
2. Although the Hotel's Accommodation Charges for children are the same as those for adults, expenses will not be charged for children of elementary school age or younger who do not require meals or bedding. However, based on the season or accommodation plan, charges for children and infants may be collected. In such cases, the Hotel will provide notification in a manner it deems appropriate.

Table No.2: Cancellation Charges (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Contracted Number of Guests		Date when Cancellation of Contract is Notified				
		No Show	Accommo- dation Day	1 Day Prior to Accommo-dation Day	9 Days Prior to Accommo-dation Day	20 Days Prior to Accommo-dation Day
Individual	1 to 14	100%	80%	20%	—	—
	15 to 99	100%	80%	20%	10%	—
Group	100 and more	100%	100%	80%	20%	10%

Remarks:

1. Percentage is the ratio of penalty fee to the accommodation fee at the time of booking.

## SOLARE HOTELS & RESORTS